

## 児童会・生徒会活動の活性化に向けた研究

# 児童会・生徒会活動の活性化に向けた研究会の活動

## I 研究の内容

### 1 活動目標

(1) 助け合い・ボランティア活動・環境問題・平和を守ることなどに対する活動を活発にします。

ア 社会奉仕活動を推進します。

イ 身体の不自由な人への関心を高め、積極的に協力します。

ウ 平和と環境を守る活動に関心を高めていきます。

(2) 教育祭「子ども・保護者・教職員の会」を成功させます。

(3) 私たちの声を、県や市町村に強く要望していきます。

4月当初、以上の目標を立て本年度取り組んでいくことを確認した。そして、代表者会、子ども・保護者・教職員の会開催、古切手やベルマーク集めなどの県の児生連活動にもコロナ禍でもできる範囲で参加協力した。

### 2 経過報告

6月11日(木)	東山梨地区 児童会・生徒会活動の活性化に向けた研究会 (東山梨地区 第1回顧問の会(東山梨教育会館))	
7月2日(木)	東山梨地区 児童会・生徒会活動の活性化に向けた研究会 (東山梨地区代表者会(笛川中学校))	} 中止
7月2日(木)	県 第1回県代表委員会(県立図書館)	
11月10日(火)	東山梨地区「子ども・保護者・教職員の会」(笛川中学校)	→ 紙面開催)
11月18日(水)	アフリカ飢餓救援活動(お米・募金)しめ切り	
1月22日(金)	古切手・ベルマーク等の最終しめ切り	
2月4日(火)	県 第2回県代表委員会(各校においてWeb開催) 知事・教育長と語る会 要望書提出(事前に提出しWebで確認)	
2月26日(火)	東山梨地区 児童会・生徒会活動の活性化に向けた研究会 (東山梨地区 第2回顧問の会(教育会館))	

## II 成果と課題

### 1 地区児童会・生徒会活動の活性化に向けた研究会〔地区代表者会〕（笛川中学校：中止）

コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度は中止となった。しかし、各校からの今年度の反省を見ると、児童・生徒の経験や良い刺激になるので、来年度は開催してほしい（感染症の状況を考えながら）という言葉が多く見られた。来年度は開催方法も検討しながら、東山梨地区の児童会・生徒会の活発化に向け、活動を進めていきたい。

### 2 東山梨「子ども・保護者・教職員の会」（紙面での開催）

今年度は、東山梨「子ども・保護者・教職員の会」も全体で集まることは難しく、紙面での提案となった。提案校の取り組みをまとめ、各校に配布することで、それぞれの児童会・生徒会活動の一助になったと考える。また、各校がコロナ禍でも「できること」に着目し、取り組みの内容を知ることができたことは、今後の活動の参考にすることができた。しかし、意見交換や質疑応答を行う機会がなかったため、深まりという面では、薄かったように感じる。来年度の感染症の状況を考えながら、開催方法も検討しつつ、内容の工夫も進めていく必要がある。最後に、紙面での提案ではあったが、今後の主な活動内容である古切手とベルマークの回収などのボランティア活動についても確認することができた。

### 3 第2回県代表委員会（山梨県庁防災新館）

県「知事・教育長・県議会議長と語る会」（各校において Web 開催）

感染症拡大防止対策として、Zoom において第2回県代表者会が開催された。知事と語る会の内容検討と今年度の児生連活動の反省を、各支部を代表して出席した児童・生徒が話し合った。その後、知事・教育長と語る会も Zoom での開催となった。各支部・各校の取り組みや県への要望などを知事と教育長に伝えた。慣れないオンラインでの開催だったが、東山梨支部の代表として、笛川中と岩手小の会長が、支部とそれぞれの学校での取り組みを伝え、励ましの言葉をいただいた。

### 4 ボランティア活動について

本年度も様々なボランティア活動に各校協力していただき、以下のような成果であった。

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| ・アフリカ救援米 682.45 kg | ・輸送費募金 242,280 円 |
| ・古切手 32.4kg        | ・ベルマーク 2.5kg     |

### 5 その他

今年度は全体で集まる機会を設けることができなかったので、来年度はオンライン等も視野に入れながら活動を進めていくことも課題の一つと考える。最後にこのような状況下でも児生連活動に対しての各校の取り組み及びご協力に感謝したい。

（児童生徒連絡協議会担当 布施 洋）